

スマートF-ウォール 一体型パネル工法



現場塗装タイプ

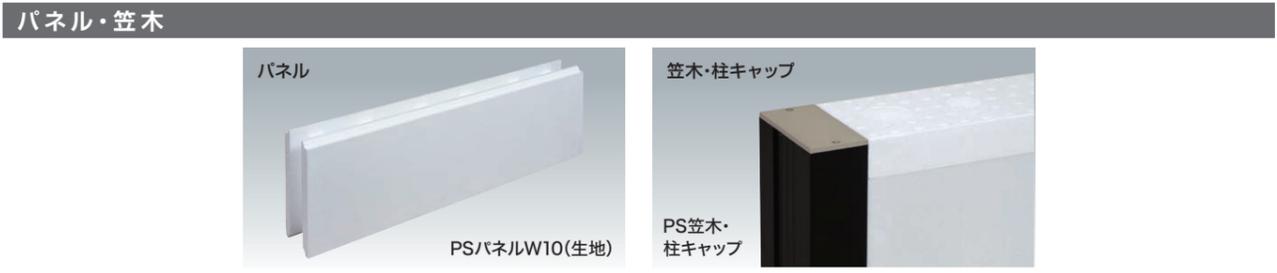
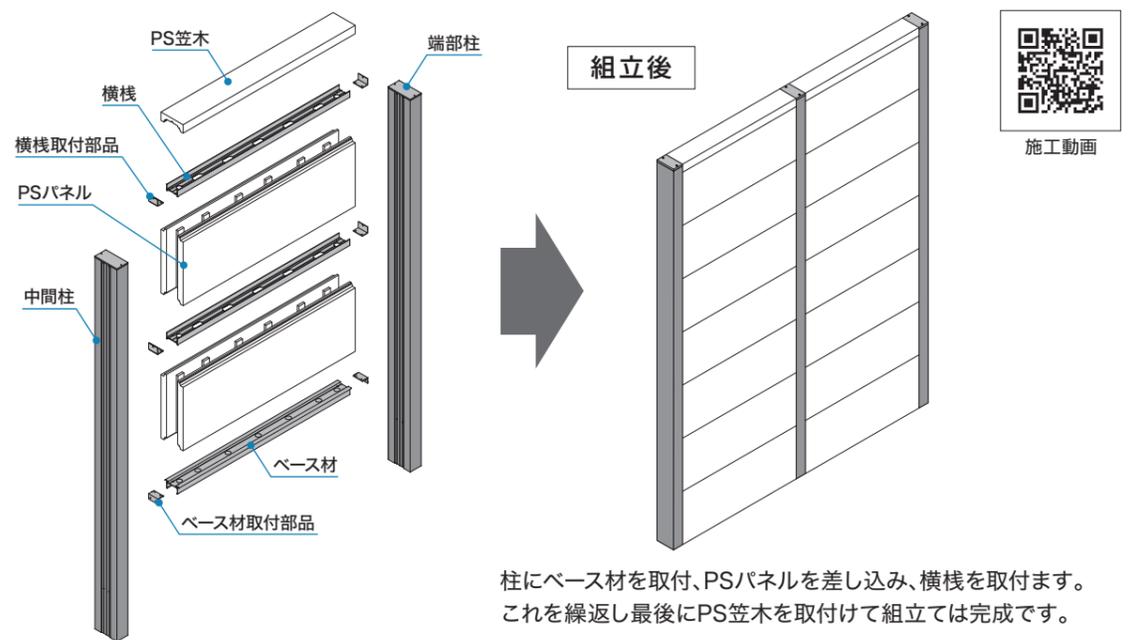
- 自由なデザイン!
- 希望の塗装仕上げ!
- アクセントパネルで凹凸仕上げが可能!

汎用プライマーを生地パネルに現地で塗布した後、表面は指定の下地調整材である「SKカチオンプラスター弾性タイプ」を塗布後、右記の「仕上げ塗材」で仕上げてください。

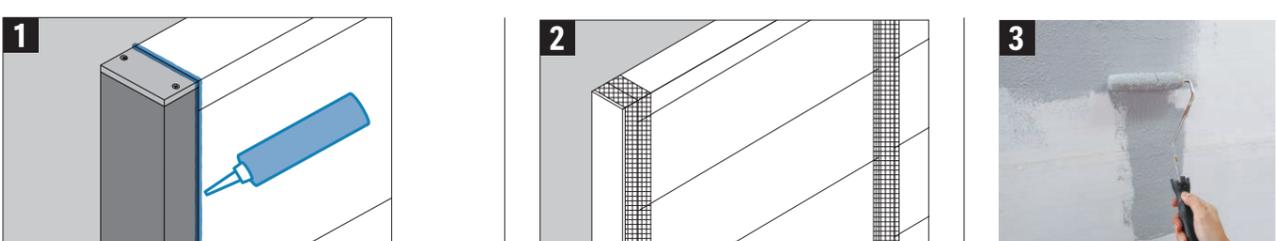
- 「下地調整材」は下記の製品をご使用ください。
- 四国化成建材社 「SKカチオンプラスター弾性タイプ」(塗厚:約2mm) または、軽量セメントモルタル(JISA6918) <塗厚:5~10mm>を施工要領を遵守して全面塗布
- 「仕上げ塗材」は下記の製品をご使用ください。
- 四国化成建材社「パレットHG」
 - 四国化成建材社「パレットクリームHG」
 - アイカ工業社「ジョリパットアルファ(JP-100)」
- ※詳しくは[P66]を参照してください。
 ※上記「下地調整材」「仕上げ塗材」は当社で性能を確認しています。必ず上記をお使いください。
 ※仕上げ塗材の塗膜の収縮や膜厚不足(2mm以下)によって下地の影響(下地の凸凹がそのまま反映されたり、メッシュの網目が見える等)を受けることがありますので、仕上げ材の膜厚については2mm以上を確保してください。当社では膜厚の確保できる仕上げパターンを設定しております。
 ※下地調整材についてもしっかりと膜厚(カチオン2mm、軽量モルタル5~10mm)を確保し、平滑に仕上げるようにしてください。
 [P66-67]も参照してください。



本体構成部品



生地面の下地処理・塗装要領



1 コーキング充填(縦目地のみ)
 本体を組立て後、コーキング材を柱とパネルの目地部(縦目地)に充填してください。柱とパネルの隙間は、気泡の無いように、しっかり充填してください。
【養生:1日 ※冬期:4日】
 ※コーキング材は、変成シリコンノンブリートタイプをご使用ください。

2 目地テープ貼付け(縦目地のみ)
 コーキングを充填後、柱とPSパネル・PS笠木の縦目地部分に目地テープを貼り付けてください。

3 汎用プライマー塗布
 塗装仕上をする部分に、当社規格の汎用プライマーを塗布してください。
【養生:0.5~1日】

4 SKカチオンプラスター塗布+グラスファイバーネット伏せこみ

1 当社指定品のSKカチオンプラスター弾性タイプを薄くコテ塗りしてください。

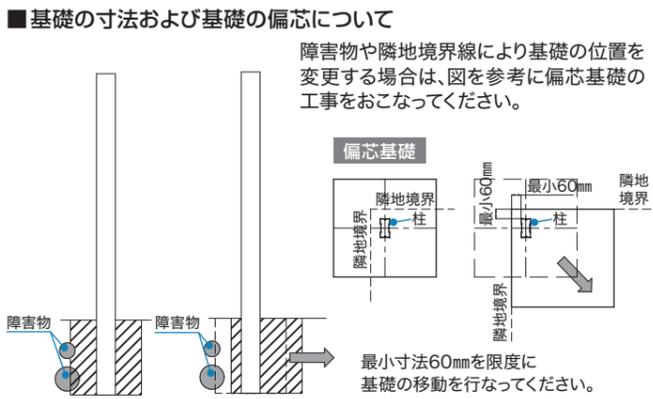
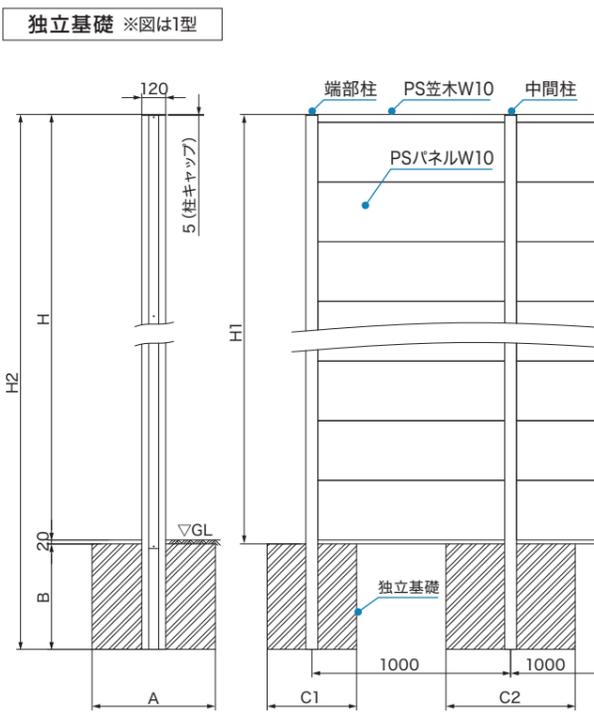
2 直後にグラスファイバーネットを壁面全体に軽く圧着してください。

3 SKカチオンプラスター弾性タイプを上から塗りこみ、合計塗厚約2mmで仕上げてください。

※又は軽量セメントモルタルを塗厚5~10mmで塗布してください(グラスファイバーネット全面伏せこみ)。軽量セメントモルタルには、モルタル接着増強剤を混入工法で使用し、各メーカー指定の量にて混入してください。

5 表面仕上げ塗材の塗装
 左記の「仕上げ塗材」で仕上げてください。濃色の場合は直射日光を避け、塗装後は養生などの処置をおこなってください。
 ※下地調整材に軽量セメントモルタルを用いる場合、仕上げ塗材施工前に各社指定のシーラー処理をしてください。

基礎寸法図(現場塗装タイプ)



■独立基礎寸法表(mm)

サイズ	H1200	H1500	H1800	H2100	H2400	H2700	H3000
H	1243	1543	1844	2144	2445	2745	3046
H1	1263	1563	1864	2164	2465	2765	3066
H2	1713	2013	2364	2694	2990	3465	3866
A ※1	420	520	560	620	700	640	640
B	450	450	500	530	525	700	800
C1 ※1	250	270	300	330	370	340	340
C2 ※1	420	520	560	620	700	640	640

※連続基礎の場合、1型は[P62]・2型は[P64]を参照してください。
 ※1. 偏芯基礎の場合はA・C1・C2の寸法に20mm加算してください。
 ※基礎寸法は、基準風速34m/s、地表面粗度区分III、長期耐力50kN/mlの時の参考寸法です。

3タイプの表面仕上げについて

3タイプの表面仕上げについて